



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月1日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL <https://housefoods-group.com>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）浦上 博史
 問合せ先責任者（役職名）広報・IR部長（氏名）仲川 宜秀（TEL）03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	66,324	7.6	4,970	△12.7	5,591	△11.9	3,597	△11.7
2022年3月期第1四半期	61,636	3.2	5,690	28.4	6,345	40.5	4,073	44.8

（注）包括利益 2023年3月期第1四半期 3,999百万円（△20.5%） 2022年3月期第1四半期 5,032百万円（69.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	36.43	—
2022年3月期第1四半期	40.57	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	380,653	295,629	69.9	2,708.75
2022年3月期	382,021	298,567	70.4	2,700.99

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 266,004百万円 2022年3月期 268,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	23.00	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,600	6.8	18,400	△4.3	19,500	△7.7	11,200	△19.8	113.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ハウス食品グループアジアパシフィック株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	100,750,620株	2022年3月期	100,750,620株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,548,779株	2022年3月期	1,169,959株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	98,730,410株	2022年3月期1Q	100,401,313株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
(1) 業績の状況	12
(2) グループ会社数	12
(3) 連結損益計算書の状況	13
(4) 連結貸借対照表の状況	17
(5) 設備投資の状況	18
(6) 減価償却費の状況	18
(7) 主要経営指標等	18
(8) 参考情報	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、“「食で健康」クオリティ企業への変革<第二章>4系列バリューチェーンへのチャレンジ”をテーマに第七次中期計画に取り組んでおります。2年目である当期も引き続き、「お客様に対して」「社員とその家族に対して」「社会に対して」という「3つの責任」全てにおいてクオリティ企業への変革を加速するとともに、「スパイス系」「機能性素材系」「大豆系」「付加価値野菜系」の4系列バリューチェーンを私どもの提供価値である「食で健康」をお届けする領域と定め、経営資源を成長領域へ重点的に配分することで持続的な成長をめざしております。

当第1四半期連結累計期間の事業環境は、新型コロナウイルス感染症からの経済活動の再開が進む一方、世界的なインフレの進行、ウクライナ情勢などの地政学的リスク、為替相場の変動など、景気の下振れが懸念される状況での推移となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、経済活動再開の流れのなかで各事業とも概ね堅調に推移し、663億24百万円、前年同期比7.6%の増収となりました。営業利益は、特に香辛・調味加工食品事業における原材料価格高騰による影響が大きく、49億70百万円、前年同期比12.7%の減益となりました。経常利益は55億91百万円、前年同期比11.9%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億97百万円、前年同期比11.7%の減益となりました。

セグメント別の経営成績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
香辛・調味加工食品事業	28,326	102.5	2,251	73.2
健康食品事業	4,110	122.7	465	—
海外食品事業	10,796	110.0	1,747	88.1
外食事業	11,334	101.9	193	55.0
その他食品関連事業	13,921	119.2	362	76.9
小計	68,487	107.7	5,017	87.8
調整(消去)	△2,163	—	△47	—
合計	66,324	107.6	4,970	87.3

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

当事業セグメントは、既存事業の収益力強化とともに新価値創出に基づく成長実現に取り組んでおります。

家庭用事業は、前期に巣ごもり特需の反動により苦戦したカレー製品群に回復の動きがあり、カレーメニューの需要の底堅さが見られました。業務用事業は、経済活動再開に伴う需要の回復を背景に堅調な推移となりました。一方、利益面では、増収効果が一定程度寄与したものの、原材料価格高騰の影響が大きく減益となりました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は283億26百万円、前年同期比2.5%の増収、営業利益は22億51百万円、前年同期比26.8%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は7.9%となり、前年同期より3.2pt減少いたしました。

<健康食品事業>

当事業セグメントは、国内の構造改革の推進とともにグローバルでの機能性素材系バリューチェーンの早期構築に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、外飲み需要回復の動きもあり「ウコンの力」が好調に推移したほか、「1日分のビタミンゼリー」や新製品「まるでスムージー」など、注力するゼリー製品が伸長いたしました。利益面では、従来から取り組んでまいりました構造改革の成果が見られ、営業黒字に転換いたしました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は41億10百万円、前年同期比22.7%の増収、営業利益は4億65百万円、前年同期からは6億27百万円改善いたしました。結果、売上高営業利益率は11.3%となり、前年同期より16.2pt向上しております。

<海外食品事業>連結対象期間：主として2022年1月～3月

当事業セグメントは、重点3エリア（米国・中国・アセアン）において成長スピードの加速に取り組んでおります。

米国事業は、引き続き拡大基調にあるプラントベースフードの需要を取り込んだほか、本年1月よりの価格改定効果もあり、豆腐事業は増収増益となりました。一方日本からの輸入事業において、サプライチェーンの混乱に伴うコンテナ入荷遅延や輸送費の増加が生じた影響から減収減益となり、米国事業全体としては増収減益となりました。

中国カレー事業は、好調に推移した前年同期の反動に加え、中国当局の「ゼロコロナ政策」による影響もあり、家庭用・業務用ともに減収となりました。利益面では、原材料価格の高騰や製品フレッシュアップに伴う一時的な販促費の上昇もあり減益となりました。

タイ機能性飲料事業は、経済活動再開に伴い首都圏への人流回復の動きが見られるなか、特にモダントレードにおいて瓶製品が好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は107億96百万円、前年同期比10.0%の増収、営業利益は17億47百万円、前年同期比11.9%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は16.2%となり、前年同期より4.0pt減少いたしました。

<外食事業>連結対象期間：(株)壺番屋は2022年3月～5月、海外子会社は2022年1月～3月

当事業セグメントは、コロナ禍においても需要の創出に積極的に取り組んでおります。

(株)壺番屋は、3月下旬に営業時間短縮等の要請が全面解除となったことなどにより、客数は徐々に回復してきたものの、国内既存店売上高は前年同期比0.7%増にとどまりました。海外店舗はエリアごとに状況は大きく異なりますが、既存店売上高は7.4%増と全体では前年同期を上回りました。利益面では、フライオイルや弁当容器等の仕入れ価格高騰に加え、中国でのロックダウンによる海外子会社の売上減少等により、営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、外食事業の売上高は113億34百万円、前年同期比1.9%の増収、営業利益は1億93百万円、前年同期比45.0%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は1.7%となり、前年同期より1.4pt減少いたしました。

<その他食品関連事業>

(株)デリカシェフは、焼成パン類や総菜が伸長したものの、原材料価格の高騰や製造経費の増加により増収減益となりました。

(株)ヴォークス・トレーディングは、MA米(ミニマム・アクセス米)の落札増加に加え、外食需要の回復や輸出商材が好調に推移したことなどにより、増収増益となりました。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は139億21百万円、前年同期比19.2%の増収、営業利益は3億62百万円、前年同期比23.1%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は2.6%となり、前年同期より1.4pt減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,806億53百万円となり、前連結会計年度末に比べて13億68百万円の減少となりました。

流動資産は、現金及び預金が減少した一方で、商品及び製品や有価証券が増加したことなどから、15億22百万円増加の1,586億45百万円となりました。固定資産は、退職給付に係る資産が増加した一方で、投資有価証券が減少したことなどから、28億90百万円減少の2,220億8百万円となりました。

負債は、850億23百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億69百万円の増加となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払金や未払法人税等が減少したことなどから、1億80百万円減少の514億30百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が減少した一方で、退職給付に係る負債が増加したことなどから、17億49百万円増加の335億94百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加した一方で、保有する投資有価証券の時価下落によりその他有価証券評価差額金が減少したほか、自己株式の取得により自己株式が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて29億38百万円減少の2,956億29百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は69.9%（前連結会計年度末は70.4%）、1株当たり純資産は2,708円75銭（前連結会計年度末は2,700円99銭）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績につきましては、2022年5月11日発表の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,004	72,227
受取手形及び売掛金	46,446	45,668
有価証券	6,008	7,254
商品及び製品	14,292	16,314
仕掛品	2,520	2,839
原材料及び貯蔵品	6,080	6,811
その他	6,866	7,621
貸倒引当金	△92	△89
流動資産合計	157,123	158,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,717	34,470
機械装置及び運搬具(純額)	19,740	19,946
土地	31,314	31,463
リース資産(純額)	1,479	1,396
建設仮勘定	3,538	4,206
その他(純額)	2,235	2,405
有形固定資産合計	92,024	93,886
無形固定資産		
のれん	268	257
商標権	18,850	18,722
ソフトウェア	4,354	4,150
契約関連無形資産	19,002	18,802
ソフトウェア仮勘定	124	210
その他	770	808
無形固定資産合計	43,368	42,949
投資その他の資産		
投資有価証券	66,729	59,545
長期貸付金	2	7
繰延税金資産	753	771
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	14,325	17,279
破産更生債権等	622	622
長期預け金	1,073	1,070
その他	6,867	6,727
貸倒引当金	△1,865	△1,848
投資その他の資産合計	89,506	85,173
固定資産合計	224,898	222,008
資産合計	382,021	380,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,264	21,257
電子記録債務	1,269	1,443
短期借入金	4,149	4,638
リース債務	575	573
未払金	9,986	7,499
未払法人税等	3,452	2,067
賞与引当金	472	253
役員賞与引当金	58	16
株主優待引当金	96	78
資産除去債務	4	5
その他	13,284	13,602
流動負債合計	51,609	51,430
固定負債		
長期借入金	177	184
リース債務	963	874
長期未払金	181	181
繰延税金負債	23,220	22,176
退職給付に係る負債	1,999	4,406
資産除去債務	815	822
長期預り保証金	3,877	3,831
その他	613	1,119
固定負債合計	31,845	33,594
負債合計	83,454	85,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	22,829	22,829
利益剰余金	208,969	210,275
自己株式	△3,984	△8,002
株主資本合計	237,762	235,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,257	19,060
繰延ヘッジ損益	40	95
為替換算調整勘定	2,925	5,062
退職給付に係る調整累計額	6,982	6,737
その他の包括利益累計額合計	31,204	30,954
非支配株主持分	29,601	29,625
純資産合計	298,567	295,629
負債純資産合計	382,021	380,653

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	61,636	66,324
売上原価	37,926	42,529
売上総利益	23,710	23,794
販売費及び一般管理費	18,020	18,824
営業利益	5,690	4,970
営業外収益		
受取利息	45	51
受取配当金	110	99
受取家賃	212	216
為替差益	36	316
補助金収入	345	121
その他	170	117
営業外収益合計	918	919
営業外費用		
支払利息	12	46
貸貸費用	172	169
持分法による投資損失	44	50
その他	35	34
営業外費用合計	263	298
経常利益	6,345	5,591
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	783	726
店舗売却益	42	—
その他	3	3
特別利益合計	832	730
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	13	45
投資有価証券売却損	—	1
投資有価証券評価損	1	—
減損損失	3	10
その他	0	—
特別損失合計	17	55
税金等調整前四半期純利益	7,160	6,265
法人税等	2,356	2,308
四半期純利益	4,804	3,957
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,073	3,597
非支配株主に帰属する四半期純利益	731	361

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,625	△2,199
繰延ヘッジ損益	131	63
為替換算調整勘定	1,979	2,388
退職給付に係る調整額	△221	△288
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	78
その他の包括利益合計	228	42
四半期包括利益	5,032	3,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,356	3,346
非支配株主に係る四半期包括利益	676	654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,378,700株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が4,018百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が8,002百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

前連結会計年度に行った会計上の見積りの前提となる仮定を大きく変更する状況には至っていないと判断しておりますが、新型コロナウイルス感染症が社会・経済活動に与える影響は依然不透明な状況が続くと考えられます。健康食品事業に係る固定資産等の減損検討に際しては、新型コロナウイルス感染症の影響に関する一定の仮定を用いている為、現時点での想定にさらに大きな変化が生じた場合、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	26,646	3,267	9,779	11,093	10,833	61,618	—	61,618	18	61,636
セグメント間の内部 売上高又は振替高	985	83	34	33	842	1,977	—	1,977	△1,977	—
計	27,631	3,351	9,813	11,126	11,675	63,596	—	63,596	△1,960	61,636
セグメント利益又は 損失(△)	3,075	△163	1,983	350	471	5,717	—	5,717	△27	5,690

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△27百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、3百万円計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	27,195	4,016	10,750	11,315	13,024	66,300	—	66,300	24	66,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,131	94	47	19	896	2,187	—	2,187	△2,187	—
計	28,326	4,110	10,796	11,334	13,921	68,487	—	68,487	△2,163	66,324
セグメント利益又は 損失(△)	2,251	465	1,747	193	362	5,017	—	5,017	△47	4,970

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△47百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、10百万円計上しております。

3. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	22.3期 第1四半期		23.3期 第1四半期		22.3期 通期		23.3期 通期予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	61,636	103.2%	66,324	107.6%	253,386	101.3%	270,600	106.8%
営業利益	5,690	128.4%	4,970	87.3%	19,227	99.0%	18,400	95.7%
経常利益	6,345	140.5%	5,591	88.1%	21,125	106.5%	19,500	92.3%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,073	144.8%	3,597	88.3%	13,956	159.5%	11,200	80.3%
包括利益	5,032	169.1%	3,999	79.5%	21,581	175.7%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	27,631	94.2%	28,326	102.5%	117,422	97.5%	122,500	104.3%
健康食品事業	3,351	89.6%	4,110	122.7%	14,432	94.4%	15,800	109.5%
海外食品事業	9,813	121.2%	10,796	110.0%	39,110	114.8%	45,100	115.3%
外食事業	11,126	106.7%	11,334	101.9%	45,422	101.6%	52,000	114.5%
その他食品関連事業	11,675	109.4%	13,921	119.2%	45,571	103.8%	44,200	97.0%
調整額	△1,960	—	△2,163	—	△8,571	—	△9,000	—

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	3,075	71.9%	2,251	73.2%	12,628	80.9%	9,700	76.8%
健康食品事業	△163	—	465	—	△138	—	300	—
海外食品事業	1,983	196.3%	1,747	88.1%	5,250	114.5%	5,500	104.8%
外食事業	350	—	193	55.0%	1,502	—	3,400	226.4%
その他食品関連事業	471	92.8%	362	76.9%	1,480	83.6%	1,600	108.1%
調整額	△27	—	△47	—	△1,494	—	△2,100	—

(2) グループ会社数

	22.3期 第1四半期	23.3期 第1四半期	22.3期 通期
連結子会社数		37社	38社
国内		15社	15社
海外		22社	23社
持分法適用関連会社		5社	5社
国内		2社	2社
海外		3社	3社

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	22.3期 第1四半期		23.3期 第1四半期		対前年同期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	61,636	100.0%	66,324	100.0%	4,688	7.6%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	27,631	44.8%	28,326	42.7%	694	2.5%
健康食品事業	3,351	5.4%	4,110	6.2%	759	22.7%
海外食品事業	9,813	15.9%	10,796	16.3%	984	10.0%
外食事業	11,126	18.1%	11,334	17.1%	208	1.9%
その他食品関連事業	11,675	18.9%	13,921	21.0%	2,246	19.2%
調整額	△1,960	△3.2%	△2,163	△3.3%	△204	—
売上原価	37,926	61.5%	42,529	64.1%	4,604	12.1%
販売費・一般管理費	18,020	29.2%	18,824	28.4%	804	4.5%
営業利益	5,690	9.2%	4,970	7.5%	△720	△12.7%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	3,075	5.0%	2,251	3.4%	△824	△26.8%
健康食品事業	△163	△0.3%	465	0.7%	627	—
海外食品事業	1,983	3.2%	1,747	2.6%	△236	△11.9%
外食事業	350	0.6%	193	0.3%	△158	△45.0%
その他食品関連事業	471	0.8%	362	0.5%	△109	△23.1%
調整額	△27	△0.0%	△47	△0.1%	△21	—
営業外収益	918	1.5%	919	1.4%	2	0.2%
営業外費用	263	0.4%	298	0.4%	35	13.4%
経常利益	6,345	10.3%	5,591	8.4%	△754	△11.9%
特別利益	832	1.4%	730	1.1%	△102	△12.3%
特別損失	17	0.0%	55	0.1%	38	217.9%
税金等調整前四半期純利益	7,160	11.6%	6,265	9.4%	△894	△12.5%
法人税等	2,356	3.8%	2,308	3.5%	△47	△2.0%
四半期純利益	4,804	7.8%	3,957	6.0%	△847	△17.6%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,073	6.6%	3,597	5.4%	△476	△11.7%
非支配株主に帰属する四半期純利益	731	1.2%	361	0.5%	△370	△50.7%
四半期包括利益	5,032	8.2%	3,999	6.0%	△1,032	△20.5%

② 販売費・一般管理費の主な増減内容

(単位：百万円)

	22.3期 第1四半期	23.3期 第1四半期	対前年同期増減
広告宣伝費	1,788	1,693	△95
運送費及び保管費	2,606	2,884	278
販売手数料	22	33	11
販売促進費	685	640	△46
人件費	6,878	6,987	110
研究開発費	1,042	1,043	1
のれん償却額	11	11	—
その他	4,988	5,533	545
販売費・一般管理費計	18,020	18,824	804

③ 営業外損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	22.3期 第1四半期	23.3期 第1四半期	対前年同期増減
受取利息	45	51	7
受取配当金	110	99	△11
受取家賃	212	216	3
為替差益	36	316	280
補助金収入	345	121	△225
その他	170	117	△53
営業外収益計	918	919	2
支払利息	12	46	33
貸貸費用	172	169	△3
持分法による投資損失	44	50	6
その他	35	34	△1
営業外費用計	263	298	35

④ 特別損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	22.3期 第1四半期	23.3期 第1四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	4	0	△4
投資有価証券売却益	783	726	△57
店舗売却益	42	—	△42
その他	3	3	—
特別利益計	832	730	△102
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	13	45	32
投資有価証券売却損	—	1	1
投資有価証券評価損	1	—	△1
減損損失	3	10	7
その他	0	—	△0
特別損失計	17	55	38

⑤ 四半期の状況
《連結》

(単位：百万円)

	22.3期					23.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	61,636	62,491	67,794	61,464	253,386	66,324				
前期増減	1,886	△1,444	△150	3,028	3,320	4,688				
営業利益	5,690	3,341	7,855	2,341	19,227	4,970				
前期増減	1,259	△2,134	△820	1,508	△186	△720				
経常利益	6,345	3,991	8,182	2,607	21,125	5,591				
前期増減	1,830	△333	△780	570	1,288	△754				
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,073	3,138	6,149	596	13,956	3,597				
前期増減	1,261	4,956	383	△1,395	5,204	△476				
包括利益	5,032	4,734	5,288	6,528	21,581	3,999				
前期増減	2,055	7,636	△2,087	1,693	9,298	△1,032				

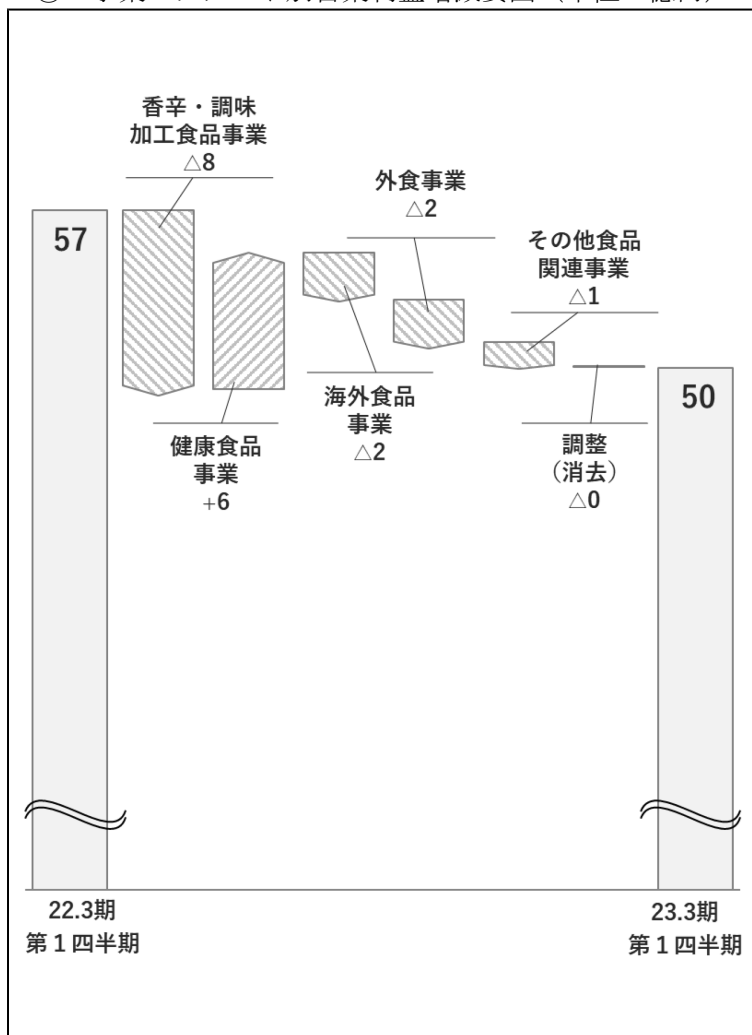
《事業セグメント別売上高》

売上高	22.3期					23.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
香辛・調味加工食品事業	27,631	29,334	32,640	27,817	117,422	28,326				
前期増減	△1,696	△538	△1,231	508	△2,958	694				
健康食品事業	3,351	3,689	4,305	3,088	14,432	4,110				
前期増減	△389	△666	153	54	△848	759				
海外食品事業	9,813	9,627	10,241	9,429	39,110	10,796				
前期増減	1,718	△543	628	3,251	5,054	984				
外食事業	11,126	10,979	11,242	12,074	45,422	11,334				
前期増減	700	△262	△359	645	724	208				
その他食品関連事業	11,675	11,192	11,477	11,227	45,571	13,921				
前期増減	999	1,106	884	△1,341	1,648	2,246				
調整額	△1,960	△2,330	△2,111	△2,171	△8,571	△2,163				
前期増減	554	△540	△225	△88	△300	△204				

《事業セグメント別営業利益》

営業利益	22.3期					23.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
香辛・調味加工食品事業	3,075	2,326	4,816	2,410	12,628	2,251				
前期増減	△1,199	△1,356	△902	471	△2,986	△824				
ROS	11.1%	7.9%	14.8%	8.7%	10.8%	7.9%				
健康食品事業	△163	△170	604	△410	△138	465				
前期増減	60	△341	216	322	258	627				
ROS	△4.9%	△4.6%	14.0%	△13.3%	△1.0%	11.3%				
海外食品事業	1,983	1,244	1,507	516	5,250	1,747				
前期増減	973	△718	△170	581	665	△236				
ROS	20.2%	12.9%	14.7%	5.5%	13.4%	16.2%				
外食事業	350	176	420	556	1,502	193				
前期増減	1,277	692	△133	327	2,162	△158				
ROS	3.1%	1.6%	3.7%	4.6%	3.3%	1.7%				
その他食品関連事業	471	328	479	201	1,480	362				
前期増減	△37	△85	△47	△122	△290	△109				
ROS	4.0%	2.9%	4.2%	1.8%	3.2%	2.6%				
調整額	△27	△563	28	△933	△1,494	△47				
前期増減	185	△325	215	△71	4	△21				

⑥ 事業セグメント別営業利益増減要因 (単位：億円)



単位：億円	対前年増減額
香辛・調味加工食品事業	△8
売上高変動	+3
原価率変動	△11
マーケティングコスト	+0
その他経費	+1
ギャバン等関連会社、調整	△1
健康食品事業	+6
売上高変動	+4
原価率変動	+1
マーケティングコスト	+0
その他経費	+1
海外食品事業	△2
米国事業	△0
中国事業	△3
アセアン事業	+2
外食事業	△2
壺番屋 (単体)	△1
壺番屋 (海外・他)	△1
その他食品関連事業	△1
デリカシェフ	△2
ヴォークス・トレーディング (連結)	+1
調整 (消去)	△0
連結営業利益増減	△7

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	22.3期末		23.3期 第1四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	157,123	41.1%	158,645	41.7%	1,522	商品及び製品の増加 2,022 有価証券の増加 1,246 原材料及び貯蔵品の増加 732 現金及び預金の減少 △2,777
固定資産	224,898	58.9%	222,008	58.3%	△2,890	投資有価証券の減少 △7,184 退職給付に係る資産の増加 2,954 建物及び構築物の増加 753 建設仮勘定の増加 667
資産合計	382,021	100.0%	380,653	100.0%	△1,368	
流動負債	51,609	13.5%	51,430	13.5%	△180	未払金の減少 △2,487 未払法人税等の減少 △1,385 支払手形及び買掛金の増加 2,993
固定負債	31,845	8.3%	33,594	8.8%	1,749	退職給付に係る負債の増加 2,408 繰延税金負債の減少 △1,044
負債合計	83,454	21.8%	85,023	22.3%	1,569	
株主資本合計	237,762	62.2%	235,051	61.7%	△2,711	自己株式の増加 △4,018 利益剰余金の増加 1,306
その他の包括利益 累計額合計	31,204	8.2%	30,954	8.1%	△251	その他有価証券評価差額金の減少 △2,197 為替換算調整勘定の増加 2,137
非支配株主持分	29,601	7.7%	29,625	7.8%	24	
純資産合計	298,567	78.2%	295,629	77.7%	△2,938	
負債純資産合計	382,021	100.0%	380,653	100.0%	△1,368	

(5) 設備投資の状況

《連結》

(単位：百万円)

	22.3期 第1四半期	23.3期 第1四半期	23.3期 通期見込
設 備 投 資	2,117	2,978	17,000
リ ー ス	211	89	200
合 計	2,328	3,067	17,200

(6) 減価償却費の状況

《連結》

(単位：百万円)

	22.3期 第1四半期	23.3期 第1四半期	23.3期 通期見込
減 価 償 却 費	2,510	2,713	11,400
支 払 リ ー ス 料	77	76	300
合 計	2,587	2,789	11,700

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めておりません。

(7) 主要経営指標等

《連結》

	22.3期	23.3期 第1四半期	23.3期 予想
一株当たり四半期(当期)純利益	139.75円	36.43円	113.60円
一株当たり純資産	2,700.99円	2,708.75円	2,764.40円
総資産回転率	0.67回	—	0.71回
売上高営業利益率	7.6%	7.5%	6.8%
E B I T D A マージン	11.9%	11.4%	11.0%
売上高経常利益率	8.3%	8.4%	7.2%
総資産営業利益率	5.1%	—	4.8%
自己資本当期純利益率	5.3%	—	4.2%
自己資本比率	70.4%	69.9%	70.2%
一株当たり配当金	46.00円	—	46.00円
配当性向	32.9%	—	40.5%
利益配分の基本方針に基づく配当性向	31.8%	—	40.3%

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従 業 員 数	6,169人	6,296人	—
---------	--------	--------	---

◎休職者・パートを含みません。

(8) 参考情報

① 国内市場規模 (ハウス食品調べ)

(単位: 億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ルウカレー	553	529	513	505	469
ルウシチュー	210	196	189	189	181
ルウハヤシ	71	71	71	73	66
レトルトカレー	671	707	753	789	787
スパイストータル	823	859	884	1,006	970

② ルウカレー市場動向 (S R I+)

2023.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
マーケット 全体	平均売価	192円						
	前年差	△1円						
ハウス食品	平均売価	190円						
	前年差	△2円						
	金額シェア	62.1%						

出典: (株) インテージ S R I+ 月次データ (2022.4-2022.6)

③ 事業別動向 (売上高前年比)

2023.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
香辛・調味加工食品事業 (ハウス食品)								
ルウカレー ※1		103.3%						
レトルトカレー ※1		107.3%						
ルウシチュー ※1		93.3%						
スパイス ※1		94.6%						
業務用 ※1		107.0%						
健康食品事業 (ハウスウェルネスフーズ)								
ウコンの力 ※1		175.8%						
C1000 ※1		102.3%						
1日分のビタミン ※1		110.9%						
海外食品事業 (現地通貨ベース)								
米国事業		104.5%						
中国事業		82.6%						
タイ機能性飲料事業		122.3%						
外食事業 (老番屋)								
国内全店売上高		99.6%						
国内既存店売上高		100.7%						
客数		101.6%						
客単価		99.1%						

※1 製品別実績は出荷ベースの参考値